

市議会だより

2022(令和4)年
8月10日発行

第74号

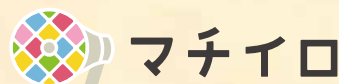


(懐かしの校舎は今)

令和4年6月定例会終わる

- ▶ 令和4年第1回臨時会…………… 2
- ▶ こんなことが決まりました …… 4
- ▶ 委員会審査…………… 6
- ▶ 市政を問う（一般質問）…………… 7

三次市議会のホームページもご覧ください。
<http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp>



「マチイロ」アプリでスマホからも
議会だよりをご覧いただけます。



iOS



Android

表紙の説明は最終ページにあります。

三次市議会

Q 検索



新体制になりました



議長
副議長

議長：山村 恵美子 副議長：藤井 憲一郎

第1回臨時会を、5月13日(金)に開催しました。議長及び副議長の選挙、2年間の任期満了にともない、常任委員の選任がありました。



総務
常任委員会
(8人)

後列左から：藤井 憲一郎 (ともえ)、宍戸 稔 (清友会)、齊木 亨 (真正会)、徳岡 真紀 (明日への風)
前列左から：竹原 孝剛 (会派 未来)、委員長：横光 春市 (真正会)、副委員長：中原 秀樹 (公明党)、小田 伸次 (ともえ)

所管

総務部、経営企画部、地域振興部、危機管理監、情報政策監、支所、会計課、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員及び公平委員会の所管に属する事項並びに他の委員会に属しない事項



教育民生
常任委員会
(8人)

後列左から：山田 真一郎 (清友会)、掛田 勝彦 (明日への風)、月橋 寿文 (ともえ)、黒木 靖治 (公明党)
前列左から：杉原 利明 (真正会)、委員長：保実 治 (清友会)、副委員長：藤岡 一弘 (明日への風)、大森 俊和 (会派 未来)

所管

市民部、福祉保健部、子育て支援部、市民病院部及び教育委員会の所管に属する事項

産業建設
常任委員会
(7人)



後列左から：増田 誠宏（明日への風）、新田 真一（会派 未来）、伊藤 芳則（無所属）
前列左から：鈴木 深由希（真正会）、副委員長：重信 好範（清友会）、委員長：弓掛 元（ともえ）、新家 良和（ともえ）

所 管 産業振興部、建設部、水道局及び農業委員会の所管に属する事項

*議長は常任委員会に所属していません。



議会運営委員会

後列左から：増田 誠宏・月橋 寿文・藤岡 一弘・弓掛 元・横光 春市
前列左から：保実 治・竹原 孝剛・宍戸 稔（委員長）・黒木 靖治（副委員長）
鈴木 深由希

所管：議会運営について協議し、意見調整を図る



広報広聴常任委員会

後列左から：山田 真一郎・重信 好範・中原 秀樹・藤井 憲一郎
前列左から：徳岡 真紀・新田 真一（委員長）・月橋 寿文（副委員長）
横光 春市

所管：議会だよりの編集、議会報告会の企画立案等



予算決算常任委員会

委員長：杉原 利明（左側）
副委員長：掛田 勝彦（右側）

所管：予算および決算に関する事項

広島県後期高齢者医療
広域連合議会

保実 治

所管：広島県後期高齢者医療に関する事項

決まったこと

〔一部改正された条例〕

◆税条例

全員一致

◆都市計画税条例

全員一致

地方税法等の一部を改正する法律が令和4年3月31日に公布されたことに伴い、改正する。主な内容は、商業地等の令和4年度の課税標準額の上昇割合（前年度比）を2.5%までに抑制、浸水被害の軽減を目的として法律上の指定を受けた貯留機能保全区域内の土地に係る課税標準額を、3年間4分の3とすることを規定

◆国民健康保険税条例

全員一致

国民健康保険税の基礎課税額等に係る課税限度額を医療保険分につき63万円から65万円に、後期高齢者支援金分につき19万円から20万円に改正

りました

6月定例会を6月17日(金)から7月1日(金)まで開催し、議案7件を原案のとおり可決、陳情1件を不採択としました。

条例の一部改正

■三次市税条例等の一部を改正する条例

全員一致

■三次市集出荷貯蔵施設等設置及び管理条例の一部を改正する条例

全員一致

その他の議案

■財産の無償譲渡及び無償貸付について

全員一致

■工事請負契約の一部変更について

全員一致

陳情

■三次市の人口減少に歯止めをかける政策実現を求めることについて

全員一致で不採択

意見書

■地方財政の充実・強化に関する意見書

全員一致

議案の内容はこちら



決議・意見書等はこちら



令和4年度 一般会計予算の補正(第60号)

補正額 1億6,461万3千円追加

総額 388億8,910万6千円

使い道

- ◆新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 **1億6,461万3千円**
 新型コロナウイルスの感染拡大の防止と感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援などを通じた地方創生を図ることを目的とした交付金
- ・子育て世帯生活支援特別給付金(大学生等世帯分)支給事業 **302万円**
- ・企業版再エネ・省エネ設備等導入支援事業 **1,000万円**
- ・家庭版再エネ・省エネ設備等導入支援事業 **1,056万4千円**
- ・ウクライナ避難民生活支援金支給事業 **234万円**
- ・畜産飼料価格高騰対策支援事業 **5,019万4千円**
- ・社会福祉施設等原油価格高騰対策支援事業 **3,000万円**
- ・運送事業者等原油価格高騰対策支援事業 **5,849万5千円**

(◆は新型コロナウイルス感染症対応分)

補正予算の概要はこちら
6月補正予算をご覧ください



令和4年度 一般会計予算の補正(第58号)

補正額 1億3,354万6千円追加

総額 383億7,169万3千円

使い道

- ◆新型コロナウイルスワクチン接種事業 **7,604万6千円**
- ◆子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 **5,750万円**

令和4年度 一般会計予算の補正(第59号)

補正額 3億5,280万円追加

総額 387億2,449万3千円

主な使い道

- ・橋梁改良事業 **2億2,300万円**
- ・奥田元宋・小由女美術館リニューアル事業 **1億2,330万円**
- ・市道法面改修事業 **500万円**
- など
- ◀繰越明許費▶ **1件** 小中学校老朽化対策事業
- ◀債務負担行為▶ **追加1件** 奥田元宋・小由女美術館リニューアル事業
- ◀地方債▶ **変更3件** 道路橋梁維持事業ほか

予算審議

定例会で、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案2件について、6月29日に委員会を開催しました。

【付託議案】

議案第59号 令和4年度三次市一般会計補正予算(第3号)ほか1議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する指摘及び意見】

議案第59号の奥田元宋・小田女美術館リニューアル事業については、今後も計画性をもって施設改修に努められたい。

議案第60号「令和4年度三次市一般会計補正予算(第4号)(案)」の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業にあたっては、交付金の使途に疑問を持たれることがないよう、制度周知を図られたい。

また、再エネ・省エネ設備等導入支援事業は、設備、製品等の納期の遅れに対しての弾力的な運用、地域で資源やお金が循環する仕組みについて検討するとともに、補助内容の市民への周知も含め、円滑な事業推進を図られたい。



予算決算常任委員長報告の様子

全国市議会議長会及び中国市議会議長会表彰状について

令和4年6月17日(金)本会議終了後、議長室で伝達式を行いました。

令和4年度の表彰者は表のとおりです。

全国市議会議長会 (基準月—令和4年4月)		
一般表彰	10年以上(議員)	齊木 亨
		山村恵美子
		鈴木深由希
感謝状(国と地方の協議の場等に関する特別委員会)		新家 良和
中国市議会議長会 (基準月—令和4年5月)		
普通表彰	3年以上(正副議長)	新家 良和



市立三次中央病院建替えに関する調査研究を行うため、市立三次中央病院建替等調査特別委員会を設置しました

市立三次中央病院建替等調査特別委員会 (定数8人)



後列左から：

山田 真一郎(清友会)、増田 誠宏(明日への風)、
重信 好範(清友会)、中原 秀樹(公明党)

前列左から：

小田 伸次(ともえ)、委員長：新家 良和(ともえ)、
副委員長：竹原 孝剛(会派 未来)、齊木 亨(真正会)

所管事務 市立三次中央病院建替えに関する事項

調査期限 審査が終了するまで

委員会審査

各常任委員長報告

定例会で、各常任委員会に審査付託となった議案等について、6月23日～27日に各委員会を開催しました。

教育民生常任委員会 6月23日開催

【付託議案】

議案第55号 「三次市税条例等の一部を改正する条例（案）」ほか1議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【所管事務調査】

- ・三次小学校改築について
- ・新学校給食調理場の進捗状況について
- ・学校給食費について



執行部に質疑を行っている様子
(教育民生常任委員会)

産業建設常任委員会 6月24日開催

【付託議案】

議案第56号 「三次市集出荷貯蔵施設等設置及び管理条例の一部を改正する条例（案）」ほか1議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【所管事務調査】

・三次市下水道使用料等検討委員会の審議検討結果について

【議案に対する指摘及び意見】

議案第61号 「工事請負契約の一部変更について（準用河川五龍川貯留施設整備工事）」は、必要な工種等が可能な限り当初の計画に反映されるよう、設計の精査に今後も努められたい。



執行部に質疑を行っている様子
(産業建設常任委員会)

総務常任委員会 6月27日開催

【付託議案等】

陳情第2号 「三次市の人口減少に歯止めをかける政策実現を求めることについて」

【審査結果】

全員一致をもって不採択

【所管事務調査】

・携帯電話の不感地域の現状とその取組について

【議案に対する意見】

※紙面の都合上、意見の要旨を掲載しています。

陳情第2号は、陳情者が訴える本市の少子化に伴う人口減少に対する危機感については、委員会としても大きな課題として共通の認識であり、問題提起いただいたものと捉えている。

ただ、委員からは「多様な生き方が尊重されつつある現代社会においては、結婚を前提とした施策よりも、事実婚への理解や男性の育児への参加などワークライフバランスを重視した施策が必要ではないか」、「これまで賃金が上がっていない社会そのものに問題がある。経済的な安心・安定を求め、結婚や出産に対する経済的負担を取り除く、国全体としての施策の推進が急務である」、「一時的な金銭給付によって結婚する人が増えるとは思えないし、結婚というプライベートな部分に行政が係わることも限界があるのではないか」といった意見が出されるなど、提案された内容に果たしてどれだけのニーズが存在するか疑問があり、事業効果は薄いと思われること。さらに、提案事業を展開することで、人口減少が緩和するとされる根拠が明確ではないとの理由から不採択とせざるを得ないものと全員一致で決した。



委員会中継実施中

定例会では、1日1常任委員会のケーブルテレビ中継を実施しています。ぜひご覧ください。

※インターネット配信及び再放送は行っていません。

各委員長報告の全文はこちら



陳情者から説明を受ける様子
(総務常任委員会)

市政を問う

令和4年6月定例会 一般質問



- 1 掛田 勝彦 (明日への風)
- 2 増田 誠宏 (明日への風)
- 3 藤岡 一弘 (明日への風)
- 4 徳岡 真紀 (明日への風)
- 5 齊木 亨 (真正会)
- 6 横光 春市 (真正会)
- 7 鈴木深由希 (真正会)
- 8 新田 真一 (会派 未来)
- 9 山田真一郎 (清友会)
- 10 宍戸 稔 (清友会)
- 11 保実 治 (清友会)
- 12 黒木 靖治 (公明党)
- 13 伊藤 芳則 (日本共産党)
- 14 小田 伸次 (ともえ)

6月定例会では、14人が市政をたどりました。質問と答弁の一部を紹介します。また、ホームページでは一般質問の日程や質問内容の一覧も公開しています。議会終了後には会議録や本会議の録画映像もご覧いただけます。

詳細はこちらにアクセス

三次市議会

検索

一般質問一覧



国においても、先般閣議決定された、いわゆる「骨太の方針」で、「効果的・効率的な支出とEBPMの徹底強化」について触れられており、本市でも、行政改革における各取組や政策立案において、引き続き、現状把握や目標設定、効果の把握など、市民アンケートや各種統計情報、業務上から得られたデータを活用していく。

宮脇経営企画部長

答弁1 引き続き、業務上から得られたデータを活用していく

地方自治体にもEBPM(証拠に基づく政策立案)の視点が必要である。第4次三次市行政改革推進計画にはデータの活用については触れていないが、今後、データを行財政改革の推進にどの程度活用していくつもりなのか本市の考えを問う。

質問1 行財政改革におけるデータを活用すべきでは



かけだかつひこ
掛田勝彦
明日への風

質問2 人口減少をどう考えているのか

令和2年11月改訂の三次市人口ビジョンに本市の人口推計が示されている。本市の人口の減り方の特徴はどのようなものか。減少することでのどのようなマイナスを生むのか。今後の人口の推移をどう見ているのかを問う。

答弁2 人口減少に歯止めがかかる効果の実現をめざし、継続した取組が必要であると考えている。

宮脇経営企画部長

人口減少の要因としては、死亡者数が出生者数を上回る自然減の幅が拡大傾向にあることに加え、進学・就職による若年層の転出超過などによる社会減が継続していることが挙げられる。これにより、あらゆる分野での担い手不足や、消費活動や産業活動の縮小、税収減による行政活動の縮小などを引き起こし、まちの活力低下や地域コミュニティの弱体化などにつながるものと考えている。今後は、各部署において、人口減少に歯止めがかかる効果の実現をめざし、継続した取組が必要であると考えている。



三次市役所本庁舎

※二次元コードから各議員の一般質問の録画映像を見ることができます。



ひろあき 日原 誠 増田 明日への風

質問1 芸備線・福塩線存続に向けての動きは

上下分離方式など専門的なことも含め、しっかりと調査研究し考えを持つ必要がある。中国5県をはじめ、多くの沿線自治体の中心となり、団結して国・県への要望やJR西日本との今後の協議・交渉を行う必要があるが考えを伺う。

※上下分離方式：線路や駅などを管理する会社と、列車を運行する会社に分けること。

答弁1 今後も必要に応じて、国への提言や要請の実施を検討していく

先般、5月10日に中国市長会が行われ、ローカル線の現状や課題について、情報交換を行った。三次市としても芸備線や福塩線の実態を踏まえて発言し、地域の実情を訴えたところである。自治体単独による



三次駅を出発した通勤・通学時間の列車

んだが、地方全体の意見として集約し、中国市長会として要望することは、非常に意義あるものと受け止めている。今後も必要に応じて、芸備線対策協議会や福塩線対策協議会を中心に、本市が先頭に立って、国への提言や要請の実施を検討していく。

質問2 語学検定等へ補助を

「がんばる中学生の英語学習応援事業」により、英検にチャレンジできる生徒が増え、英語への学習意欲と児童生徒の英語力向上につながっていたと考える。本事業は昨年度終了し、残念との声も聞かせる。新しい取組もしながら、再度補助事業を実施する考えはあるか伺う。

答弁2 どのような支援が考えられるのか、多様な視点から検討していく

迫田教育長

「がんばる中学生の英語学習応援事業」は、受験機会の拡大による本市の児童生徒の英語力や学習意欲の向上を図ることを目的として、昨年度まで実施した。この事業により、英語への学習意欲は着実に向上し、本事業の所期の目標が達成できたと考えている。今後は「一人ひとりの可能性と学びや活動の機会の最大化」をめざすべく、児童生徒が英語以外にも多様に挑戦できるような環境を整備するためにはどのような支援が考えられるのか、多様な視点から検討していく。



ひろかず 岡 一 藤岡 明日への風

質問1 三次で行うマスプロダクツ型排水ポンプ設備実証事業の概要は何か

全国の排水機場を含む、河川ポンプ設備の老朽化に伴った施設の更新に対応するためマスプロダクツ型排水ポンプが開発され、現場実証が行われる。この度、候補地として三次市が立候補し、選定された。実証事業の概要について伺う。

※マスプロダクツ：量産品 大量生産システムによって作られた製品

答弁1 市は実証にあたり、出水時のポンプ操作を行うことになる

福岡市長

この実証事業は、現在、仮設ポンプによる排水作業を実施している秋町下庄地域において、国が設備一式を整備し、出水時には実際に稼働させることで、設備の耐久性、操作性、現場適



令和3年8月の大雨災害(秋町)

用性、維持管理性などの現場実証を行うもので、市は実証にあたり、出水時のポンプ操作を行うことになる。今後、国が排水能力「毎秒1立方メートル」のポンプ1台の設置と、付随する機械設備、土木工事等を行い、令和5年度出水期から現場での実証が開始され、その後、2〜3年の実証期間を経て、実用性について評価される予定であることを確認している。

質問2 新しい市立三次中央病院の働きやすい職場環境の実現をどうするか

医療従事者という職業において、病院とは場合によっては自宅よりも長い時間を過ごす場所となる。市立三次中央病院の建替えにあたり、休憩室など働きやすい職場環境の実現についてどのように考えているのか伺う。

答弁2 意見や要望を取り上げ、職場環境の改善を進めていくよう考えている

片岡市民病院部事務部長

現在も、宿直室や休憩室、また、女性医師専用休憩室を設けているが、人材確保の面や職場環境の改善には、より充実した機能が求められている。職員の職場環境には「憩う場」「交わる場」「集う場」「学ぶ場」が必要だと考えており、病院建替準備委員会から出た意見や要望、また、職員満足度調査での意見なども取り上げて、職場環境の改善を進めていくよう考えている。

※二次元コードから各議員の一般質問の録画映像を見ることができます。



質問1
空中防除の安全への配慮に関する取組は

水田の空中防除が市内各地で始まるが、農薬の飛散に関して不安を感じる住民の声を聞く。飛散等の対策について本市ではどのような安全対策を行っており、非農家との共生をどのように推進していくか伺う。

答弁1
実施主体で適切な対策が取られているものと考え

中産産業振興部長
空中散布を行う実施主体は、住宅地、公共施設、養蜂場所等に近接しているかなどの地理的状況、収穫時期の近い農作物や有機農産物の生産圃場に近接しているかなどの耕作状況等の作業環境を十分に勘案し、飛行経路の周辺に第三者が立ち入らないよう注意喚起を行い、風下からの散布を基本に飛行経路を設定するなどの安全対策を行うこととされており、実施主体で適切な対策が取られているものと考え。

質問2
子どもの声が届く仕組みの構築を

子どもの声を反映する取組として、子どもの権利条約を生きた学びにするため、本市では生徒指導や校則について、子どもの声を取り入れるガイドラインを設ける予定はないか。

答弁2
各校の実態に応じた生徒指導規程に見直している

甲斐教育次長
三次市では、文部科学省からの通知を踏まえ、令和4年5月に、本市独自の内容を加えた基本方針について、ガイドラインにあたるものとして教育委員会から各小・中学校へ通知している。基本方針では大きく4点を示しており、1つ目には、児童生徒の参画による主体性を培う機会とすること、2つ目は、全ての児童生徒の希望進路の実現につながる内容で見直しをすること、3つ目は、保護者との共通理解につながる見直しをすること、そして4つ目は、一人一人の多様性へ配慮した視点を含めること、としている。実際には、小・中学校では、児童生徒の参画や、保護者、地域との共通理解を図りながら、各校の実態に応じた生徒指導規程に見直している。



子どもの権利条約 (出典：(公財)日本ユニセフ協会)



質問1
人口減少の対策は

三次市は今年4月で人口が5万人を切った。毎年5、6000人の減少である。人口減少の現状をどのように把握されているのか。また、人口減少要因と対策について本市はどのような所見があるのか伺う。旧町村では過疎化の進みが多いが増えている地区もある。人口が増えている地区の特徴と、人が定着するにはどのような施策が効果的か伺う。

答弁1
人口減少に歯止めがかかるよう、取り組んでいる

中原地域振興部長
本市では、昭和22年の国勢調査以降、人口減少傾向が続いている。その要因としては、死亡者数が出生者数を上回る自然減の幅が拡大傾向にあることに加え、進学・就職による若年層の転出超過などによる社会減が継続していることが挙げられる。中心市街地に近い、交通の利便性が良い、また、住宅分譲地がある地域の人口減少は緩やかであるが、令和2年に策定した第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各基本目標に取り組むことで、人口減少に歯止めがかかるよう、人口減少対策に取り組んでいる。

質問2
寺町廃寺の活用を

令和2年10月の発掘調査を経て、今後の事業計画をお聞きしたい。今後の計画に地元も一緒になって整備の方向性を出されるのか。整備までの維持管理について伺う。また、寺町廃寺遺跡の整備計画に遺構をVR（仮想現実）やAR（拡張現実）技術を使って訪れる客に説明できないか。

答弁2
地元の方の力も借りながら、史跡の維持管理に取り組んでいる

甲斐教育次長
今後のスケジュールとしては、文化庁から示された指針や指導に基づき、令和4年度から5年度にかけて「保存活用計画」の策定、令和6年度には「整備基本計画」の策定を予定している。令和7年度以降にこれらの計画を踏まえ、史跡整備工事に着手する。地元住民と自治組織と連携しながら進めていく。維持管理については、年間2回の草刈りや、地元の方の力も借りながら、史跡の維持管理に取り組んでいる。今後の維持管理は「保存活用計画」や「整備基本計画」を策定するなかで、課題として位置づけて検討していく。

堀川副市長
先端技術を用いた史跡寺町廃寺跡の活用を検討するに当たっては、VR・ARで表現したい建物の復元イメージの検討や、実際の運用面での方針や課題の検討を行う必要がある。今後の「保存活用計画」や「整備基本計画」を策定する中で、有識者からの指導・助言をいただきながら検討を行っていきたい。



質問1
一斉行動で市税等の徴収を

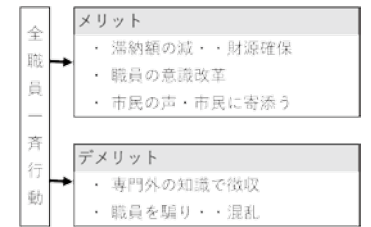
市税と国民健康保険税の収入未済額が令和2年度は徴収猶予もあり、2億2千万円相当だった。また、水道使用料等、私債権も収入未済額がある。市税等納入されない理由は、多岐にわたる。行政に不満があつて納めたくない方もおられる。職員が期間を決めて一斉行動により、市民に寄り添い徴収してはと考えるが所見を伺う。

答弁1
納税相談を受けながら、納税者に寄り添った対応をしている

担税能力のない場合は、分割納付や徴収の猶予等の納税相談を受けながら、納税者に寄り添った対応をしている。

全職員での一斉行動による徴収業務を実施した経緯が過去にはあるが、専門知識の不足する職員での対応などの弊害もあった。現在は、全職員での一斉行動は行っていないが、年3回の各債権担当課及び各支所による電話での催告を中心とした、債権確保行動を実施している。従来の行動を検証する中で、

総合的に勘案して、より効果的な現在の取組にしているところであり、全職員での一斉行動による徴収業務については考えていない。



市税等の債権確保を一斉行動で

質問2
職員企画を募集し政策に活かすべきではないか

市職員は優秀な人材が多い。職員の企画力を活かし、仕事に対する意欲を高めるためにも職員から企画を募集し、プレゼンテーションを受け、調査研究を重ねる政策に結びつけたり、事務改善の提案を事務事業改善に活かすべきと考えるが、執行部の所見を伺う。

答弁2
若い職員に積極的に関わってもらい、議論していきたいと考えている

市長に就任以来、重点的に取り組んでいるICTの活用面では、「ジモティ」を活用した除草作業におけるマッチングの実証実験や、7月から開始するLINEを活用した住民票等のオンライン申請サービス等は、若手職員を中心としたワーキンググループの提案から実現したものである。

次の総合計画の策定過程においても、ぜひ若い職員に積極的に関わってもらい、議論していきたいと考えている。



質問1
新県美展出品支援の中止は文化・芸術の振興を妨げていないか

市は、第10回新県美展の受付、巡回展を中止した。広島へ搬入不可能な方々は応募を断念、市民は巡回展鑑賞の機会を失った。通知は県の発表後で混乱した。市民の文化芸術活動を、ただの趣味と捉えられていないか。市民の意欲を削ぐ決定は如何か。

答弁1
今後も、文化・芸術の推進には積極的に取り組んでいきたいと考えている

新県美展は、巡回展を実施する市町が作品の受付業務を行うこととされている。近年、巡回展への入館者数が減少している現状、また事務的負担などを踏まえ、市民の皆様幅広く作品をご覧いただく機会として適当であるか総合的に検討し中止の判断をした。出品を予定されておられた皆様には、新県美展の要項が届いてから速やかに通知した。本市としては、新県美展の巡回展及び受付業務は中止したところではあるが、今後も、文化・芸術の推進には積極的に取り組んでいきたいと考えている。

質問2
「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション法」の施行は前へ進むのか

「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション法」は、誰もが同一内容の情報をもとで取得可能とするため、社会は当事者の望む形を保障する対応責任があることとなった。この法律について見える形での具体策を問う。

答弁2
多くの方の意見を伺いながら取組を進めていく

市ではこれまで、社会福祉協議会への手話奉仕員や要約筆記の養成や委託や派遣事業による情報入手の手段の確保や、広報みよしの朗読をはじめ、市が発信する情報をどなたにも伝えることができるような方策を実施してきた。今回成立した「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション法」では、障害者の情報取得に際し、障害の程度や種類に関係なく、情報を得られる社会を目指したものである。これまで、市では情報発信の工夫や窓口への手話通訳者の設置などを行ってきた。今後、この法律において責務とされている内容や、バリアフリー、ユニバーサルデザインにより障壁を取り払う取組など、誰もが住みやすい環境を整備することは重要と考える。障害をお持ちの方はもちろん、社会的に支援が必要な方も含め、多くの方の意見を伺いながら取組を進めていく。



新田 真一
未来派

質問1 高校の学校運営協議会への行政の関わりは

市内3高校では、学校運営協議会がすでに3年目を迎え、高校と地域とのつながり、地域課題等について論議されている。行政として運営協議会へ積極的に関わるべきと考えるが、市としての見解を伺う。

答弁1 地域活動の担い手である若い世代の人材育成につながるものと考え

中原地域振興部長
三次青陵高等学校の学校運営協議会については、令和元年度から広島県教育委員会からの委嘱を受け、地域振興課長が委員として参加し、学校運営に関する協議に加え、総合研究の授業への出前講座や研究グループへのアドバイスなどを行っている。各高校と行政が連携することは、本市のまちづくりにとって大変重要なことであり、こうした取組を通して、地域活動の担い手である若い世代の人材育成につながるものと考え

質問2 中学校部活動の地域移行は実現するか

中学校部活動の地域移行を進めることについての課題は何か。また、来年度より地域移行を進めていくという計画であるが、たくさんある課題をどのように解決しながら移行を進めていくのか、市の見解を伺う。

答弁2 課題の抽出や具体的な取組の方向性について協議・検討を行っていく

迫田教育長
部活動の地域移行については、課題が山積していることは承知している。このことから、昨年度、三次市立中学校部活動の地域移行について調査・検討し、学校における働き方改革を踏まえた、生徒にとって望ましい部活動の在り方を検討するための「地域部活動検討委員会」を設置した。この検討委員会の中で、課題の抽出や具体的な取組の方向性について協議・検討を行っていく。



三次市長杯少年サッカー大会より



山田 真一郎
清友会

質問1 鳥敷救急内水排水機場のポンプ停止の対策は

昨年8月13日の21時10分から翌日14日の12時51分までの約16時間の間、鳥敷救急内水排水機場において、一部ポンプが停止するという事故があった。二度と同様な事故を起こさないための対策を伺う。

答弁1 点検を行い、不具合の発生がないよう努めている

山田危機管理監
ポンプが停止した原因について、設置者である国に確認したところ、「絶縁不良が原因でモーターが作動しなかった」ということであった。国は、再発防止のため、昨年度の出水期終了後に、当該ポンプ設備のオーバーホールを実施し、完了している。また、出水期前には、例年どおり、専門業者によりポンプ設備や機械等の点検が行われており、さらに、三次市においても年9回、目視による点検や発電機の動作点検を行っており、不具合の発生がないよう努めている。

質問2 ため池の整備計画の考えは

ため池の整備は、廃止と改修と大きく2つに分かれると思う。三次市の今後の農業振興や災害対策、また現在進行中の施策の充実を図るためにも、農林水産省の農村地域防災減災事業等を有効活用して、流域治水の考えにのっとった内水対策として、改修を主として行うべきではないか。

答弁2 改修が必要なため池については、改修工事をしていく

中廣産業振興部長
ため池が決壊した場合に浸水が想定される区域に家屋や公共施設などがあり、人的被害を与える恐れがあるため池を防災重点農業用ため池として県が指定している。この防災重点農業用ため池については、昨年度から県が詳細診断を実施しており、今年、来年の3箇年で市内の633箇所のため池について実施される。その結果を受けて、地元協議を行い、改修が必要なため池について優先順位を付け、県または市で改修工事をしていく。

ため池の流域治水による取組については、今年度から実施するモデル地区の結果等も踏まえ、ため池の活用について考えていきたい。



水不足で田植えのできない水田



あらい しろ 戸 清 友 会

質問1 出水期の災害対応は

出水期の防災に備えてのため池の活用、合わせて水不足に備えてのため池の整備を考へてはどうか。県管理河川の護岸改修要望の実現が果たされない理由は何か。

答弁1 関係者、関係機関と協議、検討する

中廣産業振興部長
災害に対する防災減災の観点から、農薬用で使用されなくなっているため池を治水利用として活用していく必要があると考へているため池の老朽化もあり、治水利用として貯水機能を發揮していくためには、診断や改修も必要となる場合があるため、ため池の管理者とも十分協議をしながら、治水対策、また農業用としての活用を検討していきたいと考へる。

秋山建設部長
広島県管理の河川の整備は、令和3年度からの5箇年計画である「ひろしま川づくり実施計画2021」に基づいて進められている。実施計画に載っていない河川については、随時、要望をしていく必要があると考へる。

質問2 大型建設事業の状況は

新学校給食調理場整備において、建築資材等の高騰への対応状況はどうか。管理運営主体はどのようになり、公会計の導入の考へはないか。三次中央病院の建替へについては、その経緯と留意すべき事項はどうか。

答弁2 社会情勢、関係者の意見を鑑み対応する

甲斐教育次長
新学校給食調理場建設工事については、建築資材の価格が高騰し続けており、これらの影響をある程度受けけるものとして考へている。引き続き、建築資材の価格の動向を注視しつつ、関係部署や工事監理業者と連携し、工事を進めていくよう考へている。管理運営については市が行うこととし、詳細については、現在、協議を行っている。また公会計の導入にあたっては、会計ルールの構築や、システム整備、人員配置に伴う財政措置など、様々な課題がある。今後、導入により見込まれる効果や課題を踏まえて、調査検討していきたいと考へる。

片岡市民病院部事務部長
三次中央病院は、老朽化と狭隘、変化する医療ニーズへの対応などの問題を抱えており、その問題解決として病院あり方検討委員会を設置し、建替への検討を開始した。

コロナウイルス感染症の拡大により、病院における感染症対応の重要性が明確となった。「第8次医療計画」及び「公立病院経営強化プラン」においても、公立病院は平時から新興感染症の感染拡大時の対応に必要な機能を備えておくこととされており、感染症対応の機能整備が不可欠と考へる。



やす かね 保 実 治 清 友 会

質問1 「災害時協力井戸」への登録の現状と今後の取組は

登録数を増やしていくべきと考へるが、現在の登録数と今後の取組についてどのように考へているのか。国等の助成金を活用し、市の補助制度を設け、登録数に積極的に取り組むべきではないか。19住民自治組織の地域に2〜3カ所は必要と思ふ。

答弁1 引き続き、本制度の周知と登録数の増加を図っていきたいと考へている

山田危機管理監
災害時協力井戸の登録については、市のホームページや広報紙、自主防災組織等を通じて広く募集していたところであるが、新聞報道等により認知が高まったこともあり、6月10日現在、17件の登録をいただいている。引き続き、本制度の周知と登録数の増加を図っていきたく考へている。

本制度は、井戸の所有者や所在地の情報をもホームページ等で公表することとしていることから、登録にためらいがある方もおられる。断水時に個人所有の井戸の有効活用が図られるよう、取り組んでいきたいと考へる。



防災井戸 (田幸地区)

質問2 携帯電話不感状態の解消は

神杉自治連合会から不感状態の2地区の解消をする、要望書が提出されている。この地域は、電波が1社も入らない、または入っても微弱の状態である。国の補助メニューが創設され基地局施設整備事業において、非居住エリアも追加された。ぜひ利用するべきでは。

答弁2 通信事業者と調整し、少しでも電波状況の改善を前に進めるよう考へている

上谷情報政策監
今回電波状況の改善要望をいただいた地域については、昨年度、既に通信事業者に対して改善要望を行ったところであるが、「改善困難」との回答があった。改めて改善要望を行うとともに、通信事業者と調整し、少しでも電波状況の改善を前に進めるよう考へている。補助金の活用については、1社の携帯電話も使えない不感地域が前提となり、通信事業者の参画同意が前提であるが、改善の必要性や地域要望などを鑑み、活用を検討していく。



質問1 出産育児一時金の増額の考えは

出産育児一時金は現在42万円が支給されているが、出産費用の全国平均額は約46万円になる。出産育児一時金42万円を超えて自己負担が生じた場合、自己負担金額の上限を決めて、その差額を市が負担できないか。

答弁1 市独自の出産費用の助成については考えていない

松長子育て支援部長
出産育児一時金は、国において令和5年4月からの大幅な増額に向け検討が進められているところである。市としても、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるため、出産時の経済的支援策の強化は不可欠であると承知



マタニティマーク
(出典：厚生労働省 HP)

はしているが、出産育児一時金については、国の少子化対策において対応すべき施策であると考ええる。また、令和4年度の出産に限り、市独自の助成を行うということは、それ以前に出産された方との公平性に欠けると考える。したがって、市独自の出産費用の助成については考えていない。

質問2 フレイル予防としてeスポーツを取り入れては

eスポーツは、ゲーム機を使用し、指先や脳を使うため、認知機能の向上が期待でき、座ったままでできるので体への負担が少なく、高齢者でも楽しめる。フレイル予防の手段として注目されている。eスポーツは、性別や年齢などに関係なくできる。講座開催の考えはないか。

答弁2 情報収集を図り、研究を行っていく

立花福祉保健部長
本市の介護予防については、「三次市いつまでもいきいき元気プラン」に基づき、介護予防体操を基本に、体力測定、脳トレや折り紙づくりなどを実施し、運動機能や認知機能の向上に努めている。近年、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出する機会や人との関わりが減少し、特に高齢者の方にとって、フレイル予防はますます必要となつている。今後は、その対策の1つとして、「eスポーツ」についての知識を深めるため、情報収集を図り、研究を行っていく。



質問1 学校給食は安心・安全な食材調達を

新学校給食調理場へ移行することになるが、三次産3割の食材の調達のためには、農家の協力で新しい体制をつくることになる。より安心・安全な食材調達には有機栽培の推進で、農家応援にもつながらる食材活用をしていく考えはないか。

答弁1 三次産農産物を安定的に調達できる体制を確立していきたいと考える

甲斐教育次長
学校給食においては、食材の安定的な調達が必要であり、そのための生産体制の拡大と供給体制の確立が必要となる。本市における有機農産物の生産者数はまだ少なく、供給体制が確立されていない状況にあり、現状では困難であると考ええる。まずは、地産地消を推進することを目的に、三次産農産物を安定的に調達できる体制を確立していきたいと考える。

質問2 小中学校の男子用トイレに洋式トイレの設置を

小学校と中学校には、いまだに男子用の洋式トイレがない学校があり、多目的トイレで代用している。安心して学校生活を送れるよう男子用の洋式トイレの設置が早急に必要ではないか。

答弁2 トイレの洋式化を基本とし、教育環境の改善に取り組んでいく

甲斐教育次長
現在、男子用トイレを洋式化していない学校においては、多目的トイレを設置し、すべての児童生徒が洋式トイレを使用できるよう整備している。喫緊の課題である学校施設の老朽化対策とともに、学校の改築や大規模改修工事の際には、トイレの洋式化を基本とし、教育環境の改善に取り組んでいく。



多目的トイレの表示



質問1 各住民自治組織と地域振興部の関係は

市内19住民自治組織が各々持つている問題は様々だと思う。特に支所の無い旧三次市内の住民自治組織に対して地域振興部との関係が今後の市政発展に重要と考える。決して行政の下請的な感覚を持たせてはいけないと思うが、どう取り組んでいくのか。

答弁1 今後も自主的な住民自治活動ができるよう、連携を密にして取り組んでいく

中原地域振興部長
住民自治組織は、市民から最も身近な組織であり、住みよい地域づくりを推進するうえで、重要な役割を担っていると考えている。市としても協働のまちづくりを推進しており、まちづくりサポートセンターとして訪問などによるニーズの把握や活動に対する助言、集落支援員制度の活用など、様々な支援を行っている。今後も自主的な住民自治活動ができるよう、連携を密にして取り組んでいく。

質問2 「スポーツのまち みよし」の将来展望は

女子野球タウンの取組は良いと思うが、その他のスポーツ事業（大会・合宿誘致等）を行うのに受け入れの体制（審判員・サポートスタッフ・宿泊施設等）の整備と、みよし運動公園陸上競技場の改修整備が必要ではないか。経済活動につなげていく戦略はあるのか。

答弁2 計画的に施設の維持に努めていくよう考えている

中原地域振興部長
審判員やスタッフの育成は、それぞれ各種競技団体が行っている。市としては財政的な支援も行っているが、例えば審判員の活躍等について情報発信をするなど、審判員に注目が集まるような取組も行っていきたいと考えている。合宿誘致等についても、各施設や助成制度について情報発信することで、今後も大会・合宿数を増やしていきたいと考えている。みよし運動公園陸上競技場については、施設や機材等の老朽化が進んでいる。指定管理者と協議をしながら、緊急性の高いものから順次修繕や改修等の対応を行っており、来年度以降も計画的に施設の維持に努めていくよう考えている。



みよし運動公園陸上競技場

議長の定例会見を実施しました

定例会での審議等の総括、議会活動等を広く市民の皆様にお伝えするため、定例会最終日に議長の定例記者会見を実施しました。

1 令和4年6月定例会

(1) 市立三次中央病院建替等調査特別委員会の設置

2 その他

- (1) これからの活動方針について
 - ①議会・議員活動の見える化
議会報告懇談会の再開、動画サイト、SNSの活用
 - ②常任委員会の活性化
委員会の定例開催、
オンライン委員会開催の検討
 - ③男女共同参画等、議会における多様性への対応
託児等の取組
- (2) 令和3年度政務活動費収支報告について



各会派の政務活動報告

本市では、「三次市議会政務活動費の交付に関する条例」により、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議員1人当たり月額30,000円を会派（所属議員が1人の場合も含む。）に対して交付しています。

令和3年度支出状況(議員数:24人)【令和3年4月～令和4年3月分】

(単位:円)

会派	ともえ (5人)	明日への風 (4人)	真正会 (4人)	会派 未来 (3人)	清友会 (5人)	公明党 (2人)	日本共産党 三次市議員団 (1人)	市民の声 (1人)	三創会 (1人)	
交付額	1,800,000	1,440,000	1,440,000	1,080,000	1,260,000	720,000	360,000	270,000	270,000	
執行額 計	680,765	1,443,303	1,269,271	596,757	774,168	600,814	179,389	18,000	94,319	
内 訳	調査研究費	343,618	294,837	252,368	189,482	235,325	198,411	24,000	18,000	60,964
	研修費	47,775	501,797	37,910	0	100,579	0	0	0	21,345
	広報費	7,930	125,179	636,464	14,300	0	0	0	0	0
	広聴費	17,724	13,103	1,264	21,120	26,112	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	54,000	36,500	49,400	56,643	39,200	0	0	0	12,000
	資料作成費	0	0	2,270	0	20,132	5,200	0	0	10
	資料購入費	99,109	354,674	186,934	186,381	196,351	305,224	31,476	0	0
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	110,609	117,213	102,661	128,831	156,469	91,979	123,913	0	0
差引返還額	1,119,235	0	170,729	483,243	485,832	119,186	180,611	252,000	175,681	

※すべての費用について、支出を証明する領収書等が添付されています。

※三次市のホームページから各議員の支出状況が閲覧できます。

※「市民の声」「三創会」は、会派異動のため令和3年12月分までです。

※「清友会」は、令和3年12月までは3人、令和4年1月から5人です。



用途基準

- 調査研究費……市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
- 研修費……研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費
- 広報費……活動及び市政について市民に報告するために要する経費
- 広聴費……市民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、相談等の活動に要する経費
- 要請・陳情活動費……要請・陳情活動を行うために必要な経費
- 会議費……各種会議に要する経費及び団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費
- 資料作成費……資料の作成に要する経費
- 資料購入費……必要な図書、資料等の購入に要する経費
- 人件費……活動を補助する職員を雇用する経費
- 事務所費……必要な事務所の設置及び管理に要する経費

議会のうごき

2022(令和4)年
5月1日～7月31日

5月

- 10日 議会運営委員会
- 12日 議会運営委員会
- 13日 令和4年第1回臨時会、会派代表者会議
- 17日 議会運営委員会
- 31日 議会運営委員会

6月

- 7日 議会運営委員会
- 13日 会派代表者会議
- 16日 議会運営委員会
- 17日 6月定例会本会議、全員協議会、
広報広聴常任委員会
- 20日 6月定例会本会議(一般質問)
- 21日 6月定例会本会議(一般質問)、議会運営委員会
- 22日 6月定例会本会議(一般質問)、
市立三次中央病院建替等調査特別委員会
- 23日 教育民生常任委員会
- 24日 産業建設常任委員会
- 27日 総務常任委員会
- 29日 予算決算常任委員会

7月

- 1日 議会運営委員会、6月定例会本会議、
全員協議会、議会運営委員会
- 15日 議会運営委員会、広報広聴常任委員会
- 20日 会派代表者会議、
市立三次中央病院建替等調査特別委員会、
市議会トビックス(正副議長出演)
- 21日 広報広聴常任委員会



次回の定例会は **9月2日(金)** に開会する予定です。

請願・陳情の提出は、8月22日(月)正午まで

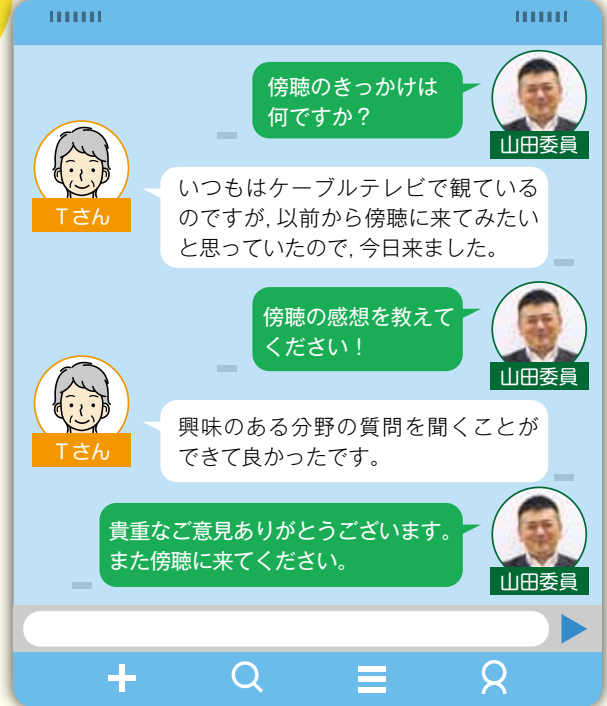
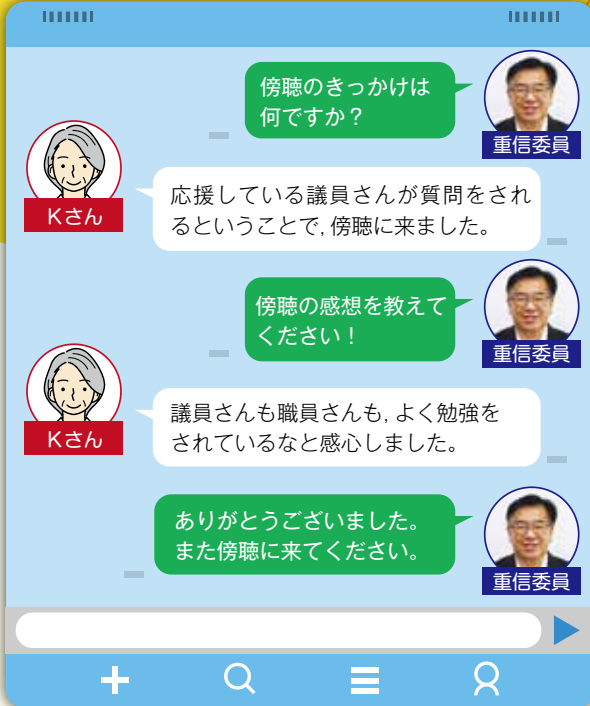
陳情・請願 市政についての意見や要望を直接市議会に提出すること。
議員の紹介のあるものを請願と言います。

きりこちゃん
三次観光イメージキャラクター

第8回

傍聴者に聞いた! 「傍聴ってこうだったのか!!」

6月定例会を傍聴に来られた方にインタビューしました。
なぜ傍聴したの? どうだった?? これを参考にみなさん
も議会を傍聴してみませんか?



インタビューと議会だよりへの掲載を快諾していただいたみなさま、ありがとうございました。
三次市議会では、傍聴者の間隔を空けるなど、感染症対策を実施して傍聴してもらえるようにしています。
ケーブルテレビでの放送やインターネット配信も実施していますので、そちらもぜひご覧ください。

お問い合わせは 議会事務局へ

TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110 Eメールアドレス gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp

あとがき

改選後2年が経過し新しい体制で臨んだ6月定例会、議
会運営委員会、総務・教育民生・産業建設の3常任委員会、
広報広聴常任委員会、予算決算常任委員会のメンバーも替
わり、新しい気持ちで委員会にどこか新鮮さを感じました。
各委員会では、正副議長の活動方針である「所管事務調
査や閉会中の継続審査の定例化」を受けています。
6月定例会中に開催した委員会では、付託された議案審
査等を協議した後、委員会の活動方針を定め、新メンバーで
スタートしました。
昨年度市民の皆さんからいただいた貴重なご意見を大切
にして活動したいと考えています。
私たちは、三次市のために、市民のために活発な議会活
動、委員会活動にします。

(横光春市)



「きさ安田パークゴルフ場」

(吉舎町上安田)



美しい山あいの盆地に、目を見張る青さの芝生が広
がっている。歩くたびにフカフカな芝のじゅうたんの上で、
ボールを打って一打でも少ないカップインを目指す。
子どもから高齢者まで、誰でも楽しめるコミュニケー
ションスポーツが、みんなを笑顔にし、人気が高まって
いる。地域の努力が、人を呼び込んでいる。

(月橋寿文)

表紙の学校名 (左上から順に)

安田小学校・横谷小学校・宇賀小学校・粟屋西小学校・三次西小学校・三良坂小学校田利分校
志和地小学校・上山小学校・君田上小学校・上田小学校・仁賀小学校・作木第一小学校